

平成24年度予算に対する

各会派の意見表明・討論

平成24年度一般会計ほか、4特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会(委員長 村上悦栄、副委員長 浅沼敏幸)を設置し、13日間にわたる慎重かつ厳正な審査を行いました。

区内事業者の更なる育成と活用の強化を！

練馬区議会自由民主党(16人)

昨年の大震災から一年一か月が経ち、犠牲となられた方々に、改めて、心から哀悼の意を表します。更なる復興に向け、練馬区議会自民党として全力を傾注することをお誓い申し上げます。そしてこの度、区内事業者の更なる育成と活用を最重点に掲げ、審査・質疑を行いました。

③区内果樹園の振興と区の活性化を図るために、「ぶどう農園」経営農家に支援を。④地域コミュニティの更なる活性化を。⑤「(仮)ねりまシテイマラソン」実施に向けて全庁挙げて最善の努力を。

⑥地域医療推進計画の着実な策定をし、区内5病院構想の実現を。⑦介護保険法の改正に伴い、増大する介護給付費の財源確保は、不適切な給付過剰な給付の適正化を図るとともに、適時適切なPR等により、区民が納得して、進んで納付できる対策を。

【環境費・都市整備費・土木費】①区民の安全・安心、風評被害の防止のために、放射

防災力強化で区民の生命と財産を守る区政を

練馬区議会公明党(12人)

平成24年度区一般会計予算および4特別会計予算に賛成する。公明党が要望してきた

【保健福祉費・介護保険会計】①災害時要援護者名簿は平時時から有効に活用し、安否確認や見守りの更なる充実を。

【環境費・都市整備費・土木費】①「高年齢者いきいき健康券」の継続を。②高次脳機能障害等の中途障がい者相談窓口やリハビリ設備を。③子宮がん・乳がん検診の他自治体受診や夜間休日受診の実施を。④胆道閉鎖症用の母子健康手帳にカラーカードを。⑤高齢者の肺炎球菌ワクチン公費助成を直ちに実施を。⑥区西部地区に新病院の建設・誘致を。

【環境費・都市整備費・土木費】①再生可能エネルギーの普及拡大を。②ミストシャワーの設置は効果的な場所に。③「放射線測定器」の貸出しを。④災害廃棄物受け入れの際には丁寧な説明と周辺放射線量の継続的測定を。⑤自転車安全走行指導員による適正な指導を。⑥みどりバス水川台ルートでは東武練馬、光が丘、練馬方面へのアクセスを。⑦高層住宅住民用防災マニュアルの作成に対する支援を。



*1ペイジー：税金や公共料金などを、パソコンや携帯電話、ATMから支払(決済)できるサービス

地域でつながる・人に寄り添う支援の充実を生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム(5人)

開発事業優先の予算に反対。①練馬駅北口にビルを建てるのではなく、緑豊かな公園を。②大泉北敬老館はIS値0・37で地震倒壊の危険あり。閣下建物止めて早期改修を。③災害廃棄物受け入れへの不安にきめ細かな対応を。④区と地域医療振興協会は、光が丘病院の医療水準の維持に責任を持ち、入院・通院患者の4月以降の万全な療養環境を保障せよ。⑤建築基準法の定めに対する事務を真摯に反省し、原因解明と再発防止の体制を速やかに整えよ。⑥外環の2(地上部街路)整備効果の情報は恣意的。「取り扱ひ方針素案」は撤回せよ。⑦都計道補助135・232号線は大二中の教育環境を最優先に道路計



予算特別委員会

※都計道...都市計画道路

⑰重度障がいも含め児童クラブでの受け入れ態勢の充実を。⑱スクールソーシャルワーカーを配置し、担任のサポート、子ども支援の充実を。⑲子ども・子育て新システムによる保育制度変更で、保育園に入れない等の不利益、保育の質の低下が懸念される。国の動向を待たずに新制度を検証し対応策を考えよ。⑳国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療は保険料負担が過重、抜本的な制度改正を。

再開発より「ふくし」や放射能対策強化予算を日本共産党練馬区議団(4人)

一般会計、国保、介護保険、後期高齢者医療の4会計予算に反対する。反対理由は、東日本大震災を受けて最初の予算にもかかわらず、防災対策が不十分である。また、くらしや福祉の予算を軒並み削り、切実な区民要望に応えていない。

さらに、国保、介護、後期高齢者医療など保険料も軒並み大幅負担増が強いられる。その一方、財政が厳しいと言いつつ、大泉学園駅北口再開発に23億6千万円を計上するなど不急の開発予算を聖域化している予算である。⑧住宅リフォーム助成の実施を。

住みたいと思われる町づくりを練馬区議会みんなの党(3人)

東日本大震災から一年経ちます。被災された方々だけではなく、私たち自身もさまざまなものを問い直すべき一年でした。当区におきましても、我が会派提案による初のPPS活用による電力の入札が実施されました。また、従来の防災計画の抜本的な見直しをはじめ、安全安心な環境を維持するため、現在行われている放射能測定継続実施、学校の耐震化、災害時避難基地としての整備等を、強く要望

しました。また地域医療の要である練馬光が丘病院の経営移行による小児救急医療で問題が発生しないよう、安定した病院運営等も求めていきます。こういった重点項目を中心に、行政の効率化や基盤整備、次世代育成・教育環境・生涯学習の充実等、さまざまな行政サービスの充実によって、練馬区が「住んでみたらよかった」を超え、「住みたい」と思われる町づくりに、全力で取り組んでいきます。

区民生活防衛、震災・放射能対策こそ強化を練馬区議会護憲連合(1人)

2012年度区一般会計、国保、介護、後期高齢者医療の計4会計予算に反対する。

理由の第一は、格差と貧困が広がるもとで、国保、介護保険、後期高齢者医療など区民に耐えがたい負担増である。第二は、区民生活防衛、放射能対策や大震災から区民を守る姿勢に弱点がある。

日大光が丘病院撤退は区民無視契約金の争い オンブズマン練馬(1人)

突然の日大撤退は50億円の契約時に支払われた金をめぐる区民不在の争いであった。医師会経営破綻を引き継いだ日大は区を補助したはずの金が契約金とされ、光が丘病院運営を続ける限り返還されない事を恐れ契約解除を区に申し入れたが、区は30年未経過を理由に返還を拒否。日大は

旧弊・しがらみにとられない税金の用途を練馬区議会無所属(1人)

平成24年度一般会計および4特別会計予算に賛成。しかし、社会保障費にかかる財源確保に不透明感あり。不要な行政資産の売却を検討すべき。

①随より始めよの精神で、職員にかかる給与・退職金の引き下げを。②教育委員会制度の形骸化に

将来に負の遺産を残さない財政運営を練馬刷新の会(1人)

福祉も大切だが、基金(貯金)と起債(借金)のバランスを調整するべきだと考える。

このバランスが悪くなると、今と将来で世代間の不公平が生じる。更に、政策の選択・

平成24年度予算に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対 ※自民党の議員数は、議長を除いた人数

Table with columns for Party Name (会派名), Party (党), and Result (結果). Rows include General (一般), National Health Insurance (国民健康保険事業), Nursing Insurance (介護保険), Late Elderly Medical Care (後期高齢者医療), and Public Parking (公共駐車場).



区公式キャラクター「ねり丸」の電気自動車初披露！(3月3日)

集中を行うべきである。①税や保険料未納者への取組の強化を。②中小企業への支援策の強化を。③障害者の一般就労先を拡充する為に、特例子会社の誘致を。④認知症の早期発見・治療へ対策を。⑤鉄道のダイヤを平準化するように事業者へ要望を。⑥問題家屋への取組の強化を。⑦地域ごとに母親学級を行い、保護者間の交流の場を。⑧災害に備えて、食料・水を各家庭に備蓄するよう、更に周知徹底を。